

平成28年度

予算のお知らせ

去る2月12日の理事会、19日の組合会にて
京成電鉄健康保険組合の28年度予算が承認されましたので
概要をお知らせいたします。

予算の基礎数値 健康保険

- 被保険者数 7,530名
- 平均標準報酬月額 387,819円
- 平均賞与月数 2.49ヵ月
- 平均年齢 44.81歳
- 扶養率 1.00人

健康保険

健康保険組合の収入は、被保険者と勤務先から納めていただく保険料収入がそのほとんどを占めており、この中から被保険者向けに保険給付と保健事業を行っています。

28年度も保険料率は9.3%（被保険者3.7%・事業主5.6%）に据え置きます。この保険料収入は約39億円ですが、被保険者および被扶養者への保険給付と保健事業に使われるのはそのうち約23億円で、残りの大半である約14億円（被保険者一人当たり年間約18万円）は、65歳以上の高齢者医療制度を現役世代が支える名目で国から拠出を求められており、納付金支出として使われます。

現在、京成健保を含む健康保険組合全体でみると、被保険者から集めた健康保険料の43.8%が高齢者医療制度を支えるため国に納められています。各健保では増え続ける納付金支出による収支の悪化を改善するため医療費の削減などに努める一方、さらに不足する分は積立金の取り崩しや保険料率の引き上げで対応しています。

今後も、団塊の世代の方々全員が75歳以上の後期高齢者となる2025年度まで高齢者数が増え続けることから、その間はこの納付金もさらに増加することが見込まれています。京成健保では、全国の健康保険組合の集まりである健康保険組合連合会（健保連）による「あしたの健保プロジェクト」を通じ、高齢者の医療費を賄うための現行の拠出金制度は現役世代に過度に依存した制度であるとして、国に対して高齢者医療制度の見直しを求めています。



健康保険組合連合会「あしたの健保プロジェクト」意見広告

28年度の保健事業について

28年度は保健事業に約1億5千万円を支出します。

特定健診・保健指導、各種検査・検診、健康相談・専門医受診のご案内など、健康保険組合が実施する保健事業は、被保険者・被扶養者のみなさんの健康維持や疾病予防を目的とすると同時に、将来の医療費支出の抑制による健保収支の改善、すなわち被保険者の健康保険料負担の軽減を目的に実施しております。被保険者・被扶養者のみなさんには、健保からのご案内に基づき、日頃から病気の早期発見、早期治療に努めていただくとともに、生活習慣病をはじめとする将来の疾病予防にも強い関心を持っていただきますようお願いいたします。

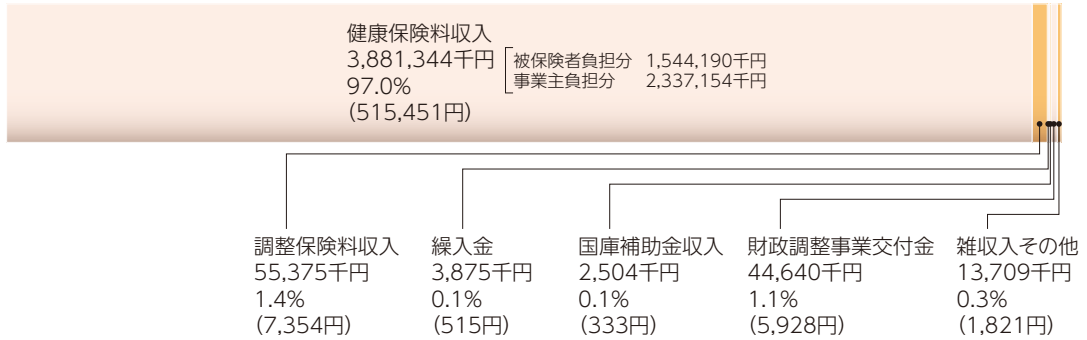
健康保険

平成28年度収入支出予算

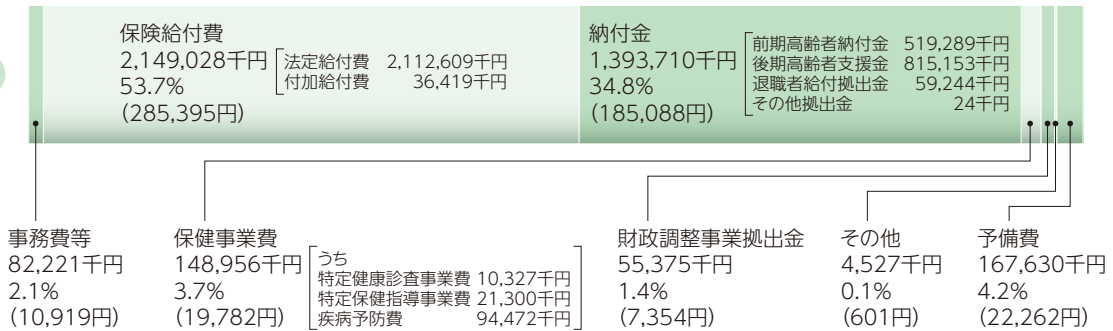
※()内は被保険者1人あたり

予算額 4,001,447千円

収入



支出



介護保険

平成28年度収入支出予算

介護保険料率は1.5%に据え置きます。(被保険者・事業主が折半で負担)

予算額 465,379千円

収入



支出



健康保険組合でも、 みなさんのマイナンバーが必要になります

平成29年1月より健康保険組合の手続き等(保険料の徴収事務、資格確認、被扶養者認定等)においてもマイナンバーが必要になります。事業所を通じて取得させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

※ご家族(被扶養者)の分も必要です。また、任意継続被保険者の方は、直接健康保険組合にご提供いただけます。

個人情報きちんと 保護されます

マイナンバーの取り扱い、個人情報保護法よりも厳格な保護措置が設けられます。

- 法令で定められた場合以外取得できません
利用目的をきちんと明示し、取得時の本人確認は厳格に行います。
- 利用目的以外の利用・提供はできません
マイナンバーを社員番号や顧客管理番号として使用することは禁じられています。
- マイナンバーは必要な場合以外保管できません
不必要になったら、できるだけ速やかに廃棄・削除しなければなりません。
- 京成健保では、「情報セキュリティ基本方針」「個人情報保護管理規程」などを定めて、個人情報の保護に努めております。詳しくは、京成健保のホームページをご覧ください。